

洋上風力発電事業について

●問合せ
総合政策課企画政策係（内線1362）

～最新の情報を随時お知らせしていきます～

胎内市の現在の段階

洋上風力発電事業が立地されるまでの主な流れ（★は、胎内市の段階を表す）



協議会の組織等の準備を直ちに開始する有望な区域

協議会における検討

国による促進区域の指定

国による公募に基づく事業者の選定

国による公募に基づく事業実施

国による占用許可（最大30年間）

事業実施

国から示された今後の進め方の留意事項

①系統の確保をすること。…発電した電気を電力会社の送配電網に接続するための空き場所（容量）を確保すること。
②利害関係者の特定および調整をすること。…漁業者を中心とする利害関係者との合意形成に向けた調整をしていくこと。

*

*

*

*

↑Middelgrunden

世界で最も美しいウインドファームといわれるコペンハーゲン沖の洋上風力発電（東京大学名誉教授 荒川忠一氏撮影）



↑会社名：株式会社ウインド・パワー・いばらき

サイト名：ウインド・パワー・かみす第1洋上風力発電所

※このほか、事業実施に当たり、選定された事業者が環境影響評価法に基づく環境アセスメントを行い、環境への影響を事前に調査する必要があります。

胎内市・村上市沖が再エネ海域利用法に基づく促進区域として国に指定されたために、国から今後の進め方の留意事項として①、②のような事項が示されています。

また、洋上風力発電施設の建設に当たっては、風車を製造し、組み立てる基地港や稼働後の運用で必要となるメンテナンス港の整備が必要となります。これについては、国県が行うものであるため、計画的に整備を行うよう要望しているところです。

クリアすべき課題

市

ヒック1

期成同盟会が設立されました！



を念頭に、地域の誘致に対する機運の醸成を図り、その声を大きく国県へ届けようとしたものです。

総会では、事務局から設立趣意書のほか、規約、役員、

12月25日、産業文化会館2階会議室で、市、市議会、商工会议、農業協同組合、金融機関、漁業関係者、環境団体、

沿岸集落の区長等で構成される期成同盟会の設立総会が開催されました。

●会長：井畠市長

▼副会長：大久保勝由氏（中条町商工会会長）／小谷達氏（黒川商工会会長）

（黒川商工会会長）

これは、洋上風力発電事業の誘致実現の前提となる再工賃海域利用法に基づく促進区域への早期指定を目指すことが

洋上風力に関する講演会が開催されました



ヒック2

洋上風力に関する講演会が開催されました



県

ヒック3

新潟県洋上風力発電導入研究会の地域部会も開催されています

市報の1月合併号16ページ

にも掲載していますが、県において昨年6月に新潟県洋上風力発電導入研究会が組織されており、11月にはその研究会の地域部会が開催されています。

この地域部会では、洋上風力発電の候補海域として想定される胎内市・村上市沖について、胎内市、村上市の漁業者や地元集落の区長、観光協会、商工会などの団体が出席して課題等の検討をスタートさせています。